

MACF 礼拝説教要旨

2023年3月26日

「苦難のしもべ」【イザヤ書 53 章】

1 わたしたちの聞いたことを、誰が信じえようか。

主は御腕の力を誰に示されたことがあろうか。

2 乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように

この人は主の前に育った。

見るべき面影はなく

輝かしい風格も、好ましい容姿もない。

3 彼は軽蔑され、人々に見捨てられ

多くの痛みを負い、病を知っている。

彼はわたしたちに顔を隠し

わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。

4 彼が担ったのはわたしたちの病

彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに

わたしたちは思っていた

神の手にかかり、打たれたから

彼は苦しんでいるのだ、と。

5 彼が刺し貫かれたのは

わたしたちの背きのためであり

彼が打ち砕かれたのは

わたしたちの咎のためであった。

彼の受けた懲らしめによって

わたしたちに平和が与えられ

彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

6 わたしたちは羊の群れ

道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。

そのわたしたちの罪をすべて

主は彼に負わせられた。

7 苦役を課せられて、かがみ込み

彼は口を開かなかった。

屠り場に引かれる小羊のように
毛を刈る者の前に物を言わない羊のように
彼は口を開かなかった。
8 捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。
彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか
わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり
命ある者の地から断たれたことを。

9 彼は不法を働かず
その口に偽りもなかったのに
その墓は神に逆らう者と共にされ
富める者と共に葬られた。
10 病に苦しむこの人を打ち砕こうと主は望まれ
彼は自らを償いの献げ物とした。
彼は、子孫が末永く続くのを見る。
主の望まれることは
彼の手によって成し遂げられる。

11 彼は自らの苦しみの実りを見
それを知って満足する。
わたしの僕は、多くの人々が正しい者とされるために
彼らの罪を自ら負った。

* * * * *

イエス様が生まれる 700 年以上も前に預言として描かれた
ひとりの人、民の苦しみと罪と病を担い、神によってその
「あがないとなだめ」が受け入れられ、民に希望と救いが
もたらされるという思想がここに描かれています。
そして、この「苦難のしもべ」はまさに私たちの主
イエス・キリストなのだと言聖書は教えています。
いくつかの特徴が描かれています。
これらの言葉からあなたは何を感じ取りますか？

1) 見栄えのしない風貌: 決して映画に出てくるヒーローと同じではない

1 わたしたちの聞いたことを、誰が信じえようか。

主は御腕の力を誰に示されたことがあろうか。
2 乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように
この人は主の前に育った。
見るべき面影はなく
輝かしい風格も、好ましい容姿もない。

2)この人の経験した内容: 軽蔑・疎外・痛み・病(罪の報い)

3 彼は軽蔑され、人々に見捨てられ
多くの痛みを負い、病を知っている。
彼はわたしたちに顔を隠し
わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。
4 彼が担ったのはわたしたちの病
彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに
わたしたちは思っていた
神の手にかかり、打たれたから
彼は苦しんでいるのだ、と。

3) 苦難に対する彼の態度: 受容・

7 苦役を課せられて、かがみ込み
彼は口を開かなかった。
屠り場に引かれる小羊のように
毛を刈る者の前に物を言わない羊のように
彼は口を開かなかった。

10 病に苦しむこの人を打ち砕こうと主は望まれ
彼は自らを償いの献げ物とした。

4)彼の苦難ゆえに私たちにもたらされた祝福

5 彼が刺し貫かれたのは
わたしたちの背きのためであり
彼が打ち砕かれたのは

わたしたちの咎のためであった。
彼の受けた懲らしめによって
わたしたちに平和が与えられ
彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

キリストは私たちの苦難をすべて担い、私たちに平和と
希望をもたらそうと「淡々と苦難の中をあゆまれた」
それはまさに「苦難にあえぐ私たちの同伴者」としての生涯であった。

あなたがどんなに苦しみの中にいても
悩みの中にいても
病の中にいても
罪の中にいても
イエス様は、あなたの苦しみ、悩み、病、罪の全部を背負い
あなたと一緒にあゆまれる。
お母さんが赤ちゃんを抱っこするとき、お母さんと赤ちゃんの
意識が「一緒」であるように、イエス様はあなたに「同伴」する。
そこに安心感を得ることができ、感じ取ることができたら
イエス様の救いはあなたに届いている。

* *

MACF 礼拝映像はこちらです

<https://youtu.be/VyovbsGI-qQ>